

# コンニャク栽培における覆土深と植付深

福島県農業総合センター 作物園芸部  
平成19年度農業総合センター試験成績概要

## 1 部門名

特用作物 - コンニャク - 栽植様式・栽植密度  
分類コード 06-02-15000000

## 2 担当者

平山孝

## 3 要旨

コンニャク球茎栽培における最適な覆土深と植付深について検討し、覆土は厚い方がよく、植付の深さは球茎高の3倍程度まで深くしても問題ないことを明らかにした。

- (1) 慣行では植付後に10cm、培土時に15cm程度に行っている覆土の厚さは、浅くするほど、出芽から開葉までの日数が多くかかり、球茎・生子収量とも少なくなった。逆に深くするほど、生育・収量は良好となった。
- (2) 慣行では植付の深さは、球茎の高さの1～2倍程度を目安に行っているが、球茎高の3倍まで深くしても、生育・収量は同等であった。球茎高の4倍になると、球茎収量は同等だが生子は減収した。
- (3) 無培土栽培を行う場合は、球茎をやや深植えにし、植付後の覆土を厚めに施すのが効果的である。
- (4) 病害発生や生子の未熟などを抑制するため、深耕などによる排水対策や作業性に留意する必要がある。

## 4 その他の資料等

なし